

【学校長の話】

夏休みを迎えるにあたり、4月から今日までのまとめを簡単にさせていただきます。

まずは一年生。4月に入学してきた君たちですが、元気でエネルギーッシュな生活ぶりでした。2日前にはA組で授業中の座る姿勢について注意しましたが、きのうはみんな、意識して座っていましたね。すぐに正そうとできる誠実さが素敵です。座る姿勢にはその人の心が表れます。おそらく今も、美しく正しく座れていることでしょう。合唱にしろ挨拶にしろ、学校に活力を与えてくれた皆さんは、魅力的な学年です。夏休み明けの活躍にも期待しています。

次に二年生。密度の濃い生活が送れていた印象でした。進路学習のためにお招きした講師の方々、口々に君たち二年生のことを賞賛していらっしゃいました。「気持ちのいい生徒さんたちですね」などと言われ、私も「その通り！」と、誇らしく思いました。授業にも一生懸命取り組めていて安定感があり、頼もしい限りです。学校のリーダーとして活躍するんだという自覚を、今後もどんどん育ててくださいね。

最後に三年生。修学旅行に私も連れて行ってきてくれてありがとう。みんな優しくて爽やかだから、楽しい修学旅行でした。ただ、一番印象的なのは、みんなが日常的に見せてくれる姿です。たとえば掃除。いつだったか、校長室前で最後の最後までほこりを丁寧にとろうとしている3年生の姿を見た時、私は感動しました。道路で止まってくれた車に対し、きちんとお辞儀をする姿を見た時も、感動しました。委員会で下級生に仕事を教える姿、部活動で新入部員にあれこれ教える姿、誰に対しても自分から挨拶する姿。きっとみんなには自然なことなのでしょうが、でも、感動的でした。脈々と受け継がれてほしい、南中の伝統として残したい、そんな姿ばかりだったと思います。

さて、明日から夏休みですが、約束してほしいことが一つあります。それは、夏休み明けに全員が笑顔で、元気いっぱい登校してくることです。それを、今ここで約束してください。では、夏休み明けのみんなの元気な登校を願い、突然ですが、約束の儀式、「指切り」をします・・・(この後、全校のみんなで「指切った！」)